

鳥取駅周辺再生基本計画（案）に対する意見募集の結果について

●意見募集期間：平成24年9月21日から10月15日まで

●お寄せいただいた意見：6人の方から18件の意見をいただきました（すべて電子メール）

●いただいたご意見の概要と、ご意見に対する市の考え方は以下の通りです。

NO.	区分	いただいたご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
1	計画全体について	民間投資が想定という段階で、市道扇幸町1号線拡幅や、公共駐車場・駐輪場整備など、多額の公共投資を先行することに疑問を感じる。	本市の目指す多極型コンパクトなまちづくりの実現のためには、ただちに鳥取駅周辺の再生に取り組むことが必要であり、有識者等で構成される専門委員会での検討を踏まえ、平成23年9月に鳥取駅周辺再生基本構想を策定しました。歩行者動線の整備及び公共駐車場整備は、基本構想に定めた鳥取駅周辺地区の将来像の実現のために必要な機能であり、既に駅周辺で活発化しつつある民間投資をさらに誘発するためにも、行政として必要な基盤整備を行うものです。
2		駅周辺再生を図るには官民連携が不可欠ということは理解できるが、官民が理解しあい、並行して物事を組み立てていかなければ再生はできない。	鳥取駅周辺地区の将来像の実現のためには行政だけでなく民間の方の協力が不可欠であり、今後とも引き続き協議・調整を図っていきたいと考えております。
3	基本計画の対象事業について	駅周辺に市営駐車場を整備した場合、無料でないと利用者は見込めないと思う。	駅周辺再生事業の実施により時間貸駐車場が減少するとともに来訪者が増加するため、駐車需要は見込めます。なお駐車場の管理運営方式については今後の検討課題ですが、施設の適切な維持管理を図る上で、利用者には一定の負担をお願いすることになると想定されます。
4		駐車場の整備により民間の利用率がどうなっていくのか。民間の駐車場事業者にもメリットある施策を打ち出してほしい。	市民アンケートの結果からも中心市街地に駐車場の整備を求める意見が多く寄せられています。なお、中心市街地の活性化の観点から、民間駐車場事業者とは適宜意見交換を行っております。
5		駅から駅前や大丸に行くのに横断歩道が遠くて非常に不便。今後ますます高齢化が進む状況なので、できるだけ早く何とかしてほしい。	高齢者の方に限らず、車いす・ベビーカー・自転車等の利用者が安全・快適に利用できるようなバリアフリー機能の拡充について、駅前太平線整備後の状況を見定めた上で検討を行っております。

6		<p>駅北口には風紋広場があり、太平線再生プロジェクトも行われ、今後、不特定多数の方が多くのイベントに参加することが予想される。動線や駐車場の整備に合わせ、障がい者も利用できる公衆用トイレの設置を検討してほしい</p>	<p>p6記載の通り、駅北側の歩行者動線の整備に関連し、多機能トイレを含む公衆トイレの設置について検討します。</p>
7		<p>駐輪場がシャミネや駅から少し離れている。隣接して設けられないか。</p>	<p>公共駐車場・駐輪場の位置は、地権者との協議の結果、現在の位置に設置することを想定しています。</p>
8		<p>駅南の2つのロータリーによって東西の道が分断されており、不便を感じることもある。</p>	<p>駅南ロータリーの交通の錯綜を改善するとともに、観光バス等の駐車スペースを確保するため、ロータリーの改修を計画しております。しかし東西のロータリーを貫通する道路を新設すると、さらにバス等の駐車スペースが十分に確保できなくなるため、現時点では貫通する道路の整備は想定しておりません。</p>
9		<p>新しい駐車場を整備すれば、ロータリーの駐車場（パーキングメーター駐車場）は不要になるのでは。</p>	<p>駅南ロータリーの改修に際してはパーキングメーター設置者との協議が必要であり、今後周辺を含めたパーキングメーターの取扱いについて協議を行う予定です。</p>
10		<p>駅南側に駐輪場を整備するのであれば、北側の商店街の中にも駐輪場を設置してはどうか</p>	<p>現在整備が進められている鳥取駅前太平線再生プロジェクトでは駐輪スペースを設定する予定です。</p>
11	関連事業について	<p>旧市立病院跡地の活用やJR賑わい空間の整備は駅南北の回遊性の向上、活性化等を図る上で最も重要になる部分であり、公共投資と並行して早急に検討していただきたい。そうすれば市道拡幅や公共駐車場の必要性がもっと明確になる。</p>	<p>旧市立病院跡地の活用は、全市的な視点で検討することが必要と考えており、幅広く意見を聞きながら検討を進めることが必要と考えております。また、賑わい空間の整備は、民間事業者が主体となって実施するものであり、現在、検討を進めているとお聞きしております</p>
12		<p>幸町のイオンの魅力アップや旧市立病院跡地に何か魅力がある物が必要であり、それが整備されることにより魅力ある店舗が連なることで回遊を生む</p>	<p>旧市立病院跡地の活用は、全市的な視点で検討することが必要と考えており、幅広く意見を聞きながら検討を進めることが必要と考えております。</p>
13		<p>賑わい空間のスペースがどのように利用されるのか、もう少し具体的にイメージできるようにしてほしい。イベント時のみにテントを出すのであれば、普段の人の流れにつながらない。</p>	<p>賑わい空間の整備は、民間事業者が主体となって実施するものであり、現在、検討を進めているとお聞きしておりますが、まだ具体的な内容については決まっております。</p>
14	その他	<p>元々、郊外に大規模店舗の許可を出したことが現状を招いていると思う</p>	<p>ご意見としてお伺いしました。</p>
15		<p>本通り周辺の東西の道路に対する信号機が短すぎるため、市街地を避ける結果となっていると思われる。</p>	<p>ご意見としてお伺いしました。</p>

16	回遊性の向上を図るためには魅力ある店舗が必要。環境整備は勿論だが個店の努力が大切	地域の魅力向上のためには、市民や事業者の皆さんの力が不可欠です。今後とも協働のまちづくりを推進することにより、事業実施効果を高めていきたいと考えております。
17	市民の税金を効果的に使うためにも、より事業の効果が出るように短中長期の視点に立って戦略的に事業を進めていただきたい。	市民の皆さんとの協働のまちづくりを推進することにより、事業実施効果を高めていきたいと考えております。
18	高松市丸亀町商店街に新しい施設が開業した。ショッピングモールと商店街との長所を兼ね備えた商店街だったが、鳥取でもそのような取り組みが必要では。	ご意見としてお伺いしました。

●このほか、期間中に開催された以下の会議に委員等として出席した市民の皆さんからも意見をいただきました

- ・第2期鳥取市中心市街地活性化基本計画検討委員会 第6回鳥取城跡周辺地域・居住交流検討部会（9月21日開催）
- ・まちづくりミーティング「まちカフェ」（9月30日開催）

NO.	区分	いただいたご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
19	基本計画の対象事業について	扇幸町1号線の整備は、色彩や植栽で工夫するなど、人が通りたくなるような仕掛けを。	事業実施段階において、歩行者の安全性と快適性に配慮した歩道を設置します。
20		駅周辺は、休憩できるくつろぐ場所がない。	駅北歩行者動線の整備に合わせて、休憩施設の設置を検討します。なお、現在整備が進められている鳥取駅前太平線再生プロジェクトでは歩行者空間にベンチを設置する予定です。
21	表現方法について	p4の図面と本文との対応が分かりにくい部分がある。	表現を修正します。 「市道拡幅(5.0m→10.5m)」を「市道扇幸町1号線拡幅」に変更
22		第2期鳥取市中心市街地活性化基本計画と表現を合わせてはどうか	表現を修正します。 p3「福祉サービス機能集積」を「市民サービス集積」に変更